

# Refinitiv ESG Scores

金融庁様「ESG評価・データ提供機関等に係る専門分科会」向け資料

LSEG: A LEADING GLOBAL FINANCIAL MARKETS  
INFRASTRUCTURE AND DATA PROVIDER



**LSEG**

リフィニティブ・ジャパン  
2022年3月3日

# アジェンダ

---

**ESG評価・データサービスについて** ※金融庁様より頂きました質問票への回答

**Refinitiv ESG Scores 概要**

# ESG評価・データサービスについて

※ 金融庁様より頂きました質問票への回答

# 1. 基本的な情報について

## 展開している ESG に関連する事業について

**背景**：2009年にESG分野で実績があるAsset4社を買収して以来、積極的にグローバルのESG関連データの収集や分析に力を入れています。また、最近のESGへの潮流においては、例えば世界経済フォーラムや国連と共にフューチャー・オブ・サステナブル・データ・アライアンスを設立するなど、グローバルレベルで各種機関との連携を図っています。

**目的**：サステナブル投資、サステナブルファイナンス、そしてESG経営やパリ協定に沿った気候変動対応に向けた企業のESGへの取り組みを、開示情報から定量的に評価し分析可能なデータの提供により支援する事

**プログラクツ名称**：Refinitiv ESG Scores

**内容**：企業の開示データに基づき、企業セクター間（EとS）および設立国間（G）での企業の相対的なESGのパフォーマンスを比較することで、

1. **ESGスコア**
2. **3つのピラースコア**（環境、社会、ガバナンス）
3. **10のカテゴリースコア**（排出量、製品責任、イノベーション、人権、株主など）
4. **不祥事スコア** …企業の経営に悪影響を及ぼす重大なESG絡みの企業不祥事ニュースから算出
5. **総合ESGスコア** …ESGスコアに不祥事スコアを織り込んで算出

のスコアを定量的に算出・提供します。また、スコアのみならず、

1. スコア算出元の**500以上の指標データ**（CO2排出量、水資源の効率的利用に関する方針の採用有無など）
2. 指標データ抽出元の**ソースデータ**（CSRレポートURL、該当頁・段落情報など）
3. 指標データからスコア算出時に用いられる**スコアリングメソッドロジ**

も併せて提供することで、高い透明性と客観性を担保しています。格付け対象企業は世界1万社以上（主要株式インデックスの構成銘柄）に及び、2002年に遡って時系列データをご利用いただけます。

**フィーの負担者**：弊社プログラクツ利用者（発行体、金融機関問わず）

青：金融庁様 事前質問  
黒：弊社回答・説明

## 2. サービス提供のあり方等 について

### 評価手法の透明性確保の取組みについて

弊社ESGスコア算出には企業の統合報告書、CSRレポート等の開示情報よりESG指標データを抽出し、弊社ウェブサイトでも公開しているメソドロジーに沿ったESGスコア・ESG指標データの算出・提供により出来る限り透明性の確保に努めております。

### リソースの確保などを含むデータや評価手法の品質確保のための取組みについて

弊社ESGスコアの算出において、企業開示情報から収集した企業ESG指標データを、各リージョンに在籍する計360人以上の評価人（アナリスト）がデータ品質チェック、分析、評価、算出をしております。

### 潜在的な利益相反の低減・管理について

上述の通り、弊社ESGスコアの算出は公開情報に基づき公開メソドロジーに従った算出に努めており、企業へのエンゲージメントやヒアリングプロセス等の定性プロセスを排除した定量評価データの提供に努めております。

### 評価企業とのコミュニケーションについて

弊社ESGスコアの算出プロセスにおいて企業様と直接のエンゲージメントやヒアリングプロセス等の定性プロセスは御座いませんが、企業様よりお取組みの内容に関して弊社のESG Contribution Toolというツールを介して開示頂く機能が御座います。

青：金融庁様 事前質問  
黒：弊社回答・説明

### 3. その他、弊社見解について

金融庁の専門分科会において、ESG評価・データ提供機関の行動規範や、企業・投資家等の役割以外の論点などがあれば

一般的に、ESG評価は、年金など金融プロフェッショナルによる利用だけではなく、銀行の投融資活動などを通じて、企業活動自体にも適用されるケースが出てきています。また、各金融機関はローデータを用いて、さらに各社の基準によるESG評価を行うなどの幅の広がりが見られます。旧Liborのような恣意性が入る余地は大きくないであろうものの、一連のLibor改革によるベンチマーク化に近い性質の行動規範の確保は必要となってくるのではないかと考えています。一方で、数百項目にも及ぶローデータレベルと、さらにそこからくみ上げる、レーティングレベルにおいて完全にマネージすることは難しく、行動規範のレベルでの統制により、恣意性の排除を目的にすることをターゲットにするのが現実的かと思われま

市場全体が健全に発展していくためには、評価機関・データ提供機関のみならず、サービスの利用者である投資家や、評価やデータの対象となる企業が果たすべき役割も重要と考えられますが、こうした観点からコメントがあれば

前問に通じるところがあります。例えば、金融ベンチマーク改革に照らし合わせると、データ公表主体が、各上場企業（または温暖化効果ガスのサプライチェーンまで考慮すると、各取引関連会社）となるため、企業全体に対するデータ開示に関する行動規範をどこまで課することができるのかという点にチャレンジが残ると考えられます。会計監査企業による行動規範というアプローチは想定できるものの、第3者データにより客観的、且つ、上書きできないようなデータを用いて企業発表の内容の裏付けを取れるような仕組みづくりも重要なのではないかと考えます。また、当然ながら、各企業における情報開示の取組みを促進できるような取組みも必要と考えています。

青：金融庁様 事前質問  
黒：弊社回答・説明

# Refinitiv ESG Scores 概要

# Refinitiv ESG Scores 概要 (1)

## 企業ESGスコアとESG指標データを提供

### 500以上の指標を3つのピラーと10のカテゴリーに集約



ESGスコア：3つの各ピラーに分類される指標から算出

ESG不祥事スコア：23の不祥事指標から算出

ESG総合スコア：ESGスコア + ESG不祥事スコア

10,000社以上・時価総額の80%・76カ国をカバー

16種類のスコアと500以上の指標を提供

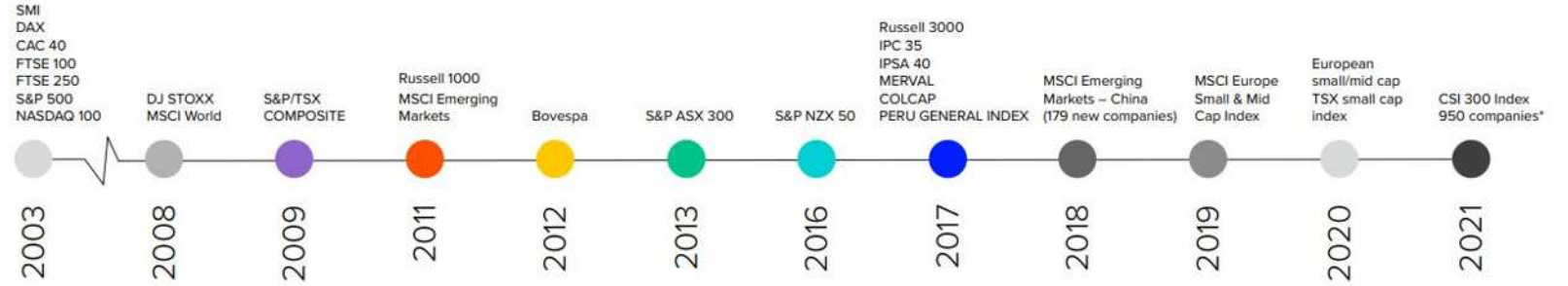
2002年からの過去データを提供(約1,000社)

スコアリングメソドロジーを公開し、透明性を担保

360人以上の専任アナリストによるデータ収集・クレンジング

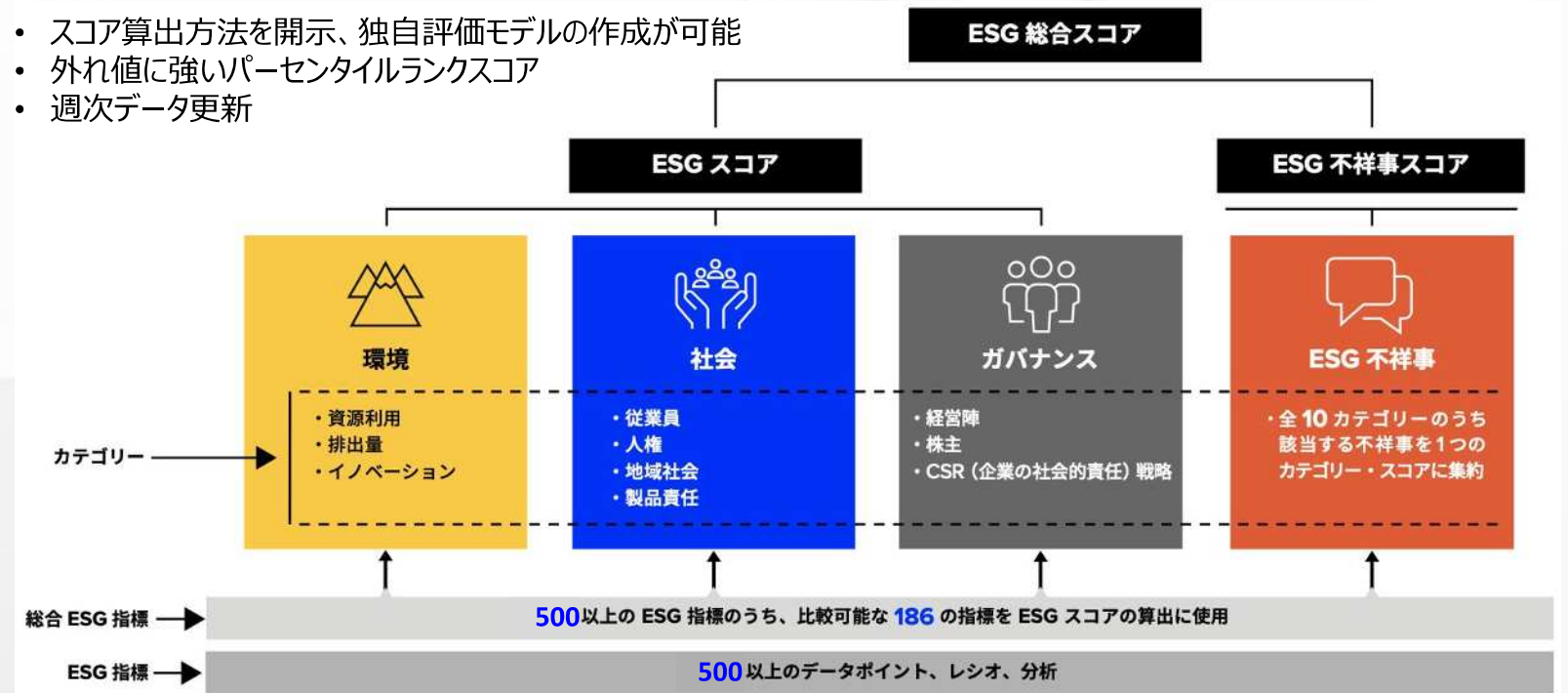


## 主要インデックスの構成銘柄10,000社以上の上場企業をカバー



## ボトムアップで環境、社会、ESG不祥事は業種毎、ガバナンスは国毎の相対的パーセンタイル・ランク・スコアを算出

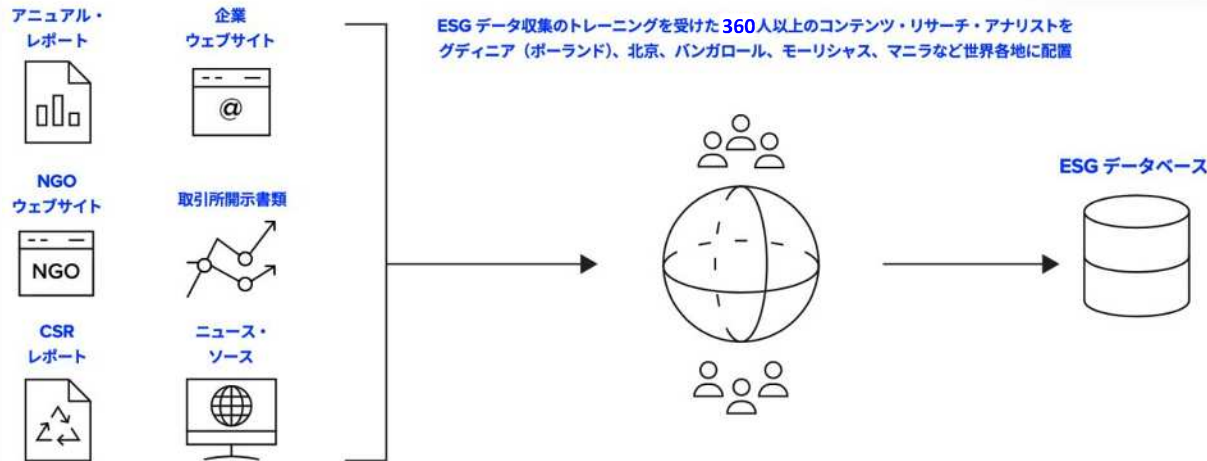
- ・スコア算出方法を開示、独自評価モデルの作成が可能
- ・外れ値に強いパーセンタイルランクスコア
- ・週次データ更新



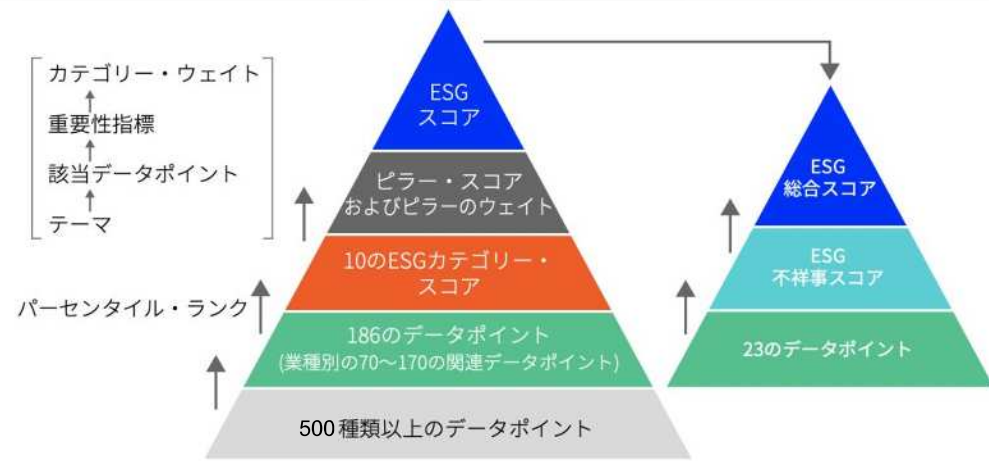


# Refinitiv ESG Scores 概要 (2)

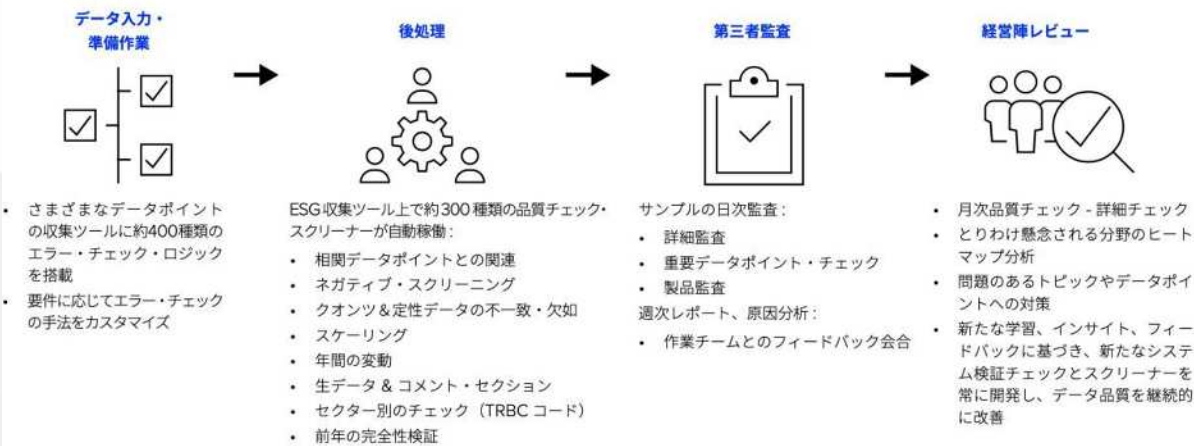
## 360人以上の専任アナリストが公開情報を収集・検証し高品質データを提供



## 5段階のスコア算出プロセスとメソドロジー公開による透明性確保



## アルゴリズムと専門家のノウハウの両方を組み合わせてデータ品質を追求



## ESGスコアの元になるESG指標データが確認できる 企業開示レポートへの導線提供により透明性を提供

REFINITIV ESG ステートメントビュー - FORD MOTOR CO (F)

ステートメントビュー

スコア対象指標	2020	2019
ESG Combined Score	A-	A-
ESG Score (ウェイト: 100.0%)	A-	A-
Environmental Pillar Score (ウェイト: 34.1%)	A+	A+
社会ピラースコア (ウェイト: 41.5%)	A	A
ガバナンスピラースコア (ウェイト: 24.4%)	C+	C+
ESG 不祥事スコア	A+	A+
▼ 資源利用スコア (ウェイト: 8.1%)	A+	A+
方針 - 資源利用削減	真	TRUE
方針 - 効率的な水利用	真	TRUE
方針 - 効率的なエネルギー利用	真	TRUE
方針 - 持続可能な包装	真	TRUE
方針 - 環境サプライチェーン	真	TRUE
目標 - 資源利用削減	真	TRUE
目標 - 効率的な水利用	真	TRUE
目標 - 効率的なエネルギー利用	真	TRUE

目標 - 効率的な水利用

詳細: Has the company set targets or objectives to be achieved on water efficiency? - in scope, are the short-term or long-term reduction target to be achieved on efficiently using the water at business operations

期間: 2020

書類: Integrated Sustainability and Financial Report 2021

情報へのリンク: <https://corporate.ford.com/microsites/integrated-sustainability-and-financial-report-2021/files/r21.pdf>

発行者: Ford Motor Company

情報開示日: 2021年4月1日

ページ番号: -

要約: Reducing Operational Water Use Prior to COVID-19, we were on target to reduce absolute water by over 25 percent (10 percent normalized) compared to the 2015 baseline. The pandemic had an approximate 14 percent impact on our performance, improving our absolute water withdrawal by more than 38 percent from the 2015 baseline, and reducing absolute water use by 75 percent from 2009.

対象範囲: Global

コメント: -

リフィニティブ・ジャパン株式会社  
インベストメント・ソリューションズ担当

© 2022 Refinitiv. All rights reserved. Refinitiv及びRefinitivロゴは、Refinitivの商標であり、登録商標となっています。本書に言及される如何なる第三者の名称又はマークは、当該第三者に帰属します。リフィニティブは、本書を発行するにあたり、本書に記載される情報が、現在または将来においても正確であることを保証するものではありません。また、本書を取引又は売買を行う際の意思決定の目的で使用することは適切ではなく、本書は投資助言となる投資、税金、法律等のいかなる助言も提供しません。また、特定の金融の個別銘柄、金融投資あるいは金融商品に関するいかなる勧告も提供しません。リフィニティブ、その代理人、従業員及び 第三者プロバイダーも、本書に記載される情報に依拠したことから発生するいかなる損失又は損害に関し、何らの責任も負わないものとします。本書は、リフィニティブが所有権を有する情報が含まれており、リフィニティブが事前に書面により明示的に承認した場合を除き、全部又は一部であれ、再発行、複製、開示、又は使用することは禁止されています。



**LSEG**